

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう!

http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/08seisan/nousan/suitou_seiku/index.html

第 5 報
千葉県農林水産部
平成20年7月24日

早期落水を防止し高品質米生産を!

[生育状況]

収穫は8月17日頃から始まる! (表1を参照)

7月上・中旬は平年に比べ、気温がやや高く、7月19日の梅雨明け以降、日照時間は多く推移しました。

出穂期は4月20日移植の「ふさおとめ」、「ふさこがね」ともに7月19日と、平年よりも2~3日遅くなりました。4月20日移植の「コシヒカリ」は7月23日頃と予測していましたが、2~3日遅れており、まもなく出穂期になります。

収穫期は、最近の高温と今後の気象予測から、「ふさおとめ」が8月17日、「ふさこがね」が8月20日、「コシヒカリ」が8月31日と、平年並みを見込んでいます。

なお、7月22日に気象庁から、「高温と少雨に関する気象情報」が発表され、7月いっぱい気温が高くなることが予想されます。特に水管理を適切に行うとともに、適期収穫とていねいな乾燥調製作業を行い、品質の高いお米を作りましょう!

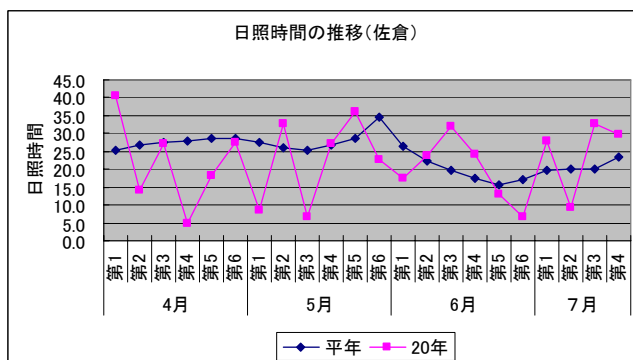
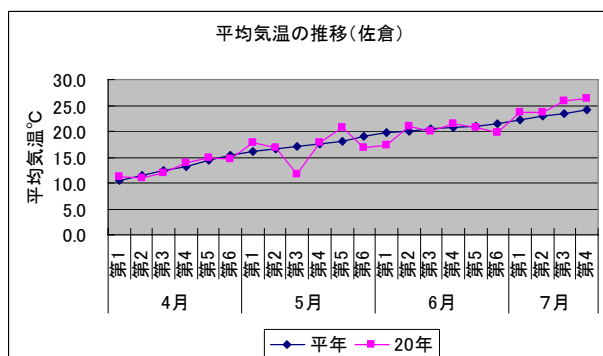


表1 品種別の生育遅速と成熟期の予測

| 品種 | 植付時期 | 出穂期の 平年遅速 | 成熟期予測(月日) | | | |
|-------|-------|--------------|-----------|--------|--------|--------|
| | | | 県北 | 九十九里 | 内湾 | 県南 |
| ふさおとめ | 4月20日 | やや遅 | 8月22日~ | 8月20日~ | 8月19日~ | 8月17日~ |
| ふさこがね | 4月20日 | やや遅 | 8月25日~ | 8月23日~ | 8月22日~ | 8月20日~ |
| コシヒカリ | 4月20日 | やや遅 | 9月4日~ | 9月2日~ | 8月31日~ | 8月31日~ |
| | 5月1日 | やや遅 | 9月6日~ | 9月4日~ | 9月2日~ | 9月2日~ |

注)「ふさおとめ」「コシヒカリ」の予測はメッシュ予測、平年値は過去5カ年平均値。ただし、「ふさこがね」は過去2カ年平均値。

[これからの管理のポイント]

出穂後は、品質の良い米を生産するため、高温時の水張り、早期落水の防止、カメムシ類の防除を中心とした基本技術を励行しましょう。

高温乾燥時には、水張りを！（重要）

「乳白米」の発生は、出穂後15日頃までの高温（平均気温28℃以上）や乾燥風によって増加することが報告されていますので、水を張りましょう。

早期落水を行わない！（重要）

現在、「ふさおとめ」は出穂～乳熟期を迎えており、「コシヒカリ」はまもなく出穂期を迎えます。出穂してから25日間は水が必要で、「間断かんがい」を行い、根の活力を維持し米粒の充実を図ります。早期落水すると米粒の充実不足を招き、品質も低下するので、早期落水は行わないようにしましょう。

斑点米カメムシ類に注意！（表2を参照）

斑点米カメムシ類の発生は「やや少」（病害発生予報第4号）と予想されていますが、今後、出穂した水田への飛来数が多くなることもありますので、ほ場をよく観察しましょう。

成虫、幼虫の発生が多い場合は、薬剤散布を行いましょ。薬剤の散布にあたっては、収穫前使用日数に十分注意して適正に防除し、他の作物等に飛散しないようにしてください。

表2 カメムシ類の主な防除薬剤

| 薬 剤 名 | 使 用 時 期（使用回数） | 10aあたり散布量 |
|---------------|----------------|-----------|
| エルサン粉剤3DL | 収穫7日前まで（3回以内） | 3～4kg |
| トレボン粉剤DL | 収穫7日前まで（3回以内） | 3～4kg |
| MR. ジョーカー粉剤DL | 収穫7日前まで（2回以内） | 3～4kg |
| ベストガード粉剤DL | 収穫14日前まで（4回以内） | 4kg |
| スタークル粒剤 | 収穫7日前まで（3回以内） | 3kg |

穂いもちの発生に注意！（表3を参照）

いもち病の発生は「やや少」（病害虫発生予報第4号）と予想されています。

葉いもちは、発生の多い地点が一部にあることや、進行型病斑が多いことなどから、今後気温が低めで雨の日が多くなると、穂いもちの発生が多くなることも考えられます。

出穂後も上位葉や穂首などに病斑が見られる場合には、発生状況を確認し、防除を行いましょ。

表3 穂いもち病の主な防除薬剤

| 対 象 | 薬 剤 名 | 使用時期（使用回数） | 10aあたり散布量 |
|------|----------|--------------|------------------------|
| 穂いもち | カスミン粉剤DL | 収穫14日前まで（5回） | 3kg |
| | カスミン液剤 | 収穫14日前まで（5回） | 1,000倍、120～150 μ l |
| | ブラシン粉剤DL | 収穫21日前まで（2回） | 3～4kg |

収穫は適期に！ (図1を参照)

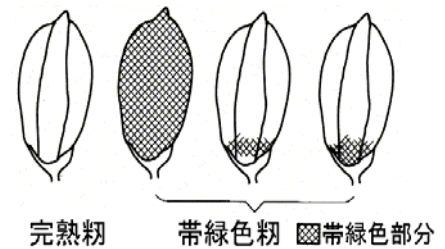
良品質米の生産のため収穫は適期に行いましょう。

収穫は登熟状況を十分に観察し、帯緑色籾歩合15%の時にいきましょう(注:帯緑色籾数歩合は生育中庸株10株から中位の穂を選び、不稔籾を除いて数えます)。

なお、各品種ごとの収穫期の目安は、出穂期(全穂数の40~50%が出穂した日)から、「ふさおとめ」で33日前後、「ふさこがね」で37日前後、「コシヒカリ」で38日前後です。早刈りでは青未熟粒、刈り遅れでは胴割米等が発生し、品質・食味を低下させます。

また、収穫した籾を3時間以上炎天下に放置しておくと、品質が低下します。収穫後は速やかに乾燥しましょう。

図1 帯緑色籾の見分け方



仕上げ水分は14.5~15.0%に！

高温による急速な乾燥や過乾燥等は胴割れ米を発生させ、品質・食味を低下させます。乾燥は平均毎時乾減率0.7~0.8%で行い、仕上げ水分は14.5~15.0%とします。

また、籾摺りは、乾燥後、穀温が高い状態で行うと肌ずれ米や胴割米を生じますので、十分放冷し穀温を下げてから行ないましょう。

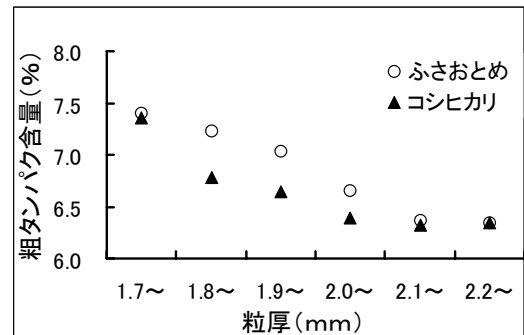
選別には1.8mm以上の網目を使おう！

(図2を参照)

粒厚1.8mm以上の米は粗タンパク含量が低く、おいしいお米です。

選別の網目は、1.8mm以上にしましょう。

図2 粒厚と粗タンパク含量の関係



異品種の混入を避けましょう！

異品種の混入を防止するため、コンバイン、乾燥機、籾すり機の清掃をていねいに実施しましょう。

生産履歴記帳の推進

「売れる米づくり」に栽培管理の記録は不可欠です。集荷団体では、出荷にあたって「生産履歴」(栽培管理記録簿)の提出をお願いしています。もう一度記録簿を確認しておきましょう。

「ふさこがね」の出荷に当たっての注意

20年産米から出荷用米袋の銘柄、及び品種名は「ふさこがね」と記載してください！



ふさこがね 7月23日 千葉市緑区刈田子町